

コミュニティ・アーキテクト

近江環人



地域再生人材創出プログラム

滋賀県立大学 近江環人地域再生学座

平成 27 年度 (春期) 社会人コース受講生

募集

2/20(金)まで

コミュニティ・アーキテクト (近江環人) とは、地域の課題を客観的に診断し、産、官、民さまざまな立場の人々の力を引き出し、つなぎながら、まちづくりや地域再生を達成するための知識と実践力を兼ね備えたリーダー、コーディネータのことです。

近江環人地域再生学座が提供するプログラムを修了し、検定試験に合格した人に、本学学長からコミュニティ・アーキテクト (近江環人) の称号が付与されます。既に 100 名近い近江環人が、地域の現場で活躍しています。



受付開始

選考試験

開講

前期授業

後期授業

学座修了

検定試験

称号授与

2/16-2/20

3/9

4/10

4-7月

10-2月

2月初

2月末

3月末

【前期開講科目】 地域診断法特論／コミュニティ・マネジメント特論／コミュニティ・プロジェクト実習Ⅱ

【後期開講科目】 エコ・テクノロジー特論／地域再生学特論／コミュニティ・プロジェクト実習Ⅰ

※学座は原則金曜午後 (14:50-18:00)、実習は土曜日開講。ビデオ補講も対応しています。

受講料等 入学検定料9,800円／入学料 (県内者) 28,200円 (県外者) 42,300円／授業料 1単位につき7,400円、平成27年度前期で6単位 (44,400円)、平成27年度後期で6単位 (44,400円)、合計12単位 (88,800円) の履修が必要。その他履修に要する特別の費用は科目等履修生の負担。

※学座での1年間の学びの修了後に社会特別選抜を経て大学院の本専攻に進学した場合、学座で取得した単位を活用して、通常2年間のところ1年間で修士号を得るチャンスも開かれます。



お問い合わせ先

公立大学法人滋賀県立大学地域共生センター

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

電話：0749(28)9851

FAX：0749(28)0220

E-mail：kanjin@office.usp.ac.jp

<http://ohmikanjin.net/>

※近江環人地域再生学座は一般財団法人滋賀県市町村職員互助会の寄付を活用して運営しています。

近江環人地域再生学座

おうみかんじんちいきさいせいがかくざ

授業内容・講師陣(平成26年度)

【地域診断法特論】

- 第1回 オリエンテーション『地域診断法～鳥の目、虫の目、科学の目』 鶴飼修(学座担当教員)
- 第2,3回 診断基礎①②『エコロジカルプランニングの手法による地域診断』 鶴飼修(学座担当教員)
- 第4,5回 地域診断①②『地域診断事例の解説 その1』 鶴飼修(学座担当教員)
- 第6,7回 地域診断③④『地域診断事例の解説 その2』 鶴飼修(学座担当教員)
- 第8回 属性診断③『滋賀県の動植物の特性把握と地域診断』 中井克樹(琵琶湖博物館)
- 第9回 属性診断⑥『滋賀県の安全・防災上の特性把握と地域診断』 高田豊文(本学教員)
- 第10回 属性診断⑤『滋賀県の経済・産業動態の特性把握と地域診断』 秋山道雄(本学教員)
- 第11回 属性診断②『滋賀県の歴史の特性把握と地域診断』 水野章二(本学教員)
- 第12,13回 地域診断⑤⑥『地域診断の実践』 鶴飼修(学座担当教員)
- 第14回 地域診断③『地域診断に基づいた地域再生提案の作成』 鶴飼修(学座担当教員)
- 第15回 地域診断④『地域診断に基づいた地域再生提案発表・講評』 鶴飼修(学座担当教員)

【コミュニティ・マネジメント特論】

- 第1回 [理念・基礎]『コミュニティ・マネジメント総論』 仁連孝昭(本学理事)
- 第2・3回 [実践手法]『コミュニティ・ビジネス論』 鶴飼修(本学教員)
- 第4・5回 [実践手法]『コミュニティ・ビジネス・マネジメント』 鶴飼修(本学教員)
- 第6回 [理念・基礎]『人間行動解説手法』 細馬宏通(本学教員)
- 第7回 [事例研究]『地域事業の創発手法と支援』 西岡孝幸(日本ビジネスインキュベーション協会)
- 第8・9回 [事例研究とワークショップ]『NPO、市民活動のありかた』 阿部圭宏(市民活動・NPOコーディネーター)
- 第10回 [事例研究]『心象絵図を用いた地域活性化』 上田洋平(本学教員)
- 第11回 [事例研究]『NPO、市民活動等の動向①』 北川憲司(滋賀県地方自治研究センター理事)
- 第12・13回 [事例研究とワークショップ]『組織無きマネジメント:環境実験都市オーロヴイル』
/『み・つば』のマネージメント:NPO法人五環生活』 近藤隆二郎(本学教員)
- 第14回 [事例研究]『地域における医療・保健・福祉のしくみと実践』 飯降聖子(本学教員)
- 第15回 [総括議論]『コミュニティ創造手法・マネジメント手法』 鶴飼修(本学教員)

【地域再生学特論】

- 第1回 イントロ・意見交換2:地域再生とコミュニティ・アーキテクト 布野修司・上田洋平(本学教員)
- 第2回 彦根学1:城下町保存とまちづくり 鈴木達也(まち遺産ネットひこね)
- 第3回 彦根学2:商店街・空家の再生とまちづくり 西村眸(小江戸ひこね町屋情報バンク)
- 第4回 米原学1:水源の郷のまちづくり 押谷茂敏(有限会社押谷地域設計)
- 第5回 米原学2:長寿社会のまちづくり 藤田博(米原市大野木長寿村まちづくり会社コーディネーター)
- 第6回 長浜学1:黒壁を中心としたまちづくり 竹村 光雄(長浜まちづくり株式会社コーディネーター)
- 第7回 長浜学2: エコツーリズムとまちづくり 前川和彦(ウッディパル余呉)
- 第8回 近江八幡学1:生き甲斐のまちづくり 石井和浩(NPO法人ウォーリス建築保存再生運動一粒の会)
- 第9回 近江八幡学2:堀の再生からのまちづくり 川端五兵衛(元近江八幡市長)
- 第10回 大津学:新たなコミュニティ創造の取り組み 大原歩(成安造形大学付属近江学研究所)
- 第11回 東近江学1:多様な主体の連携によるFEC自給圏の実現へ 野村正次(あいとうふるさと工房)
- 第12回 東近江学2:琵琶湖の森を元気にする仕組みづくり 山口美知子(滋賀県地方自治研究センター)
- 第13回 高島・湖西学:自然産業の創造とまちづくり 中尾友一(株式会社自然産業研究所)
- 第14回 大津・湖西学:都市プランナーとまちづくり 森川総(滋賀県立大学客員准教授)
- 第15回 まとめ・意見交換2:地域再生とコミュニティ・アーキテクト 布野修司・上田洋平(本学教員)

【エコ・テクノロジー特論】

- 第1回 エコ・テクノロジーについて 山根、松岡、高田(本学教員)
- 第2回 環境調和のテクノロジー 山根浩二(工学部機械システム工学科)
- 第3回 低炭素社会への取り組み 杉井威夫(滋賀県庁・滋賀県琵琶湖環境部温暖化対策課 課長)
- 第4回 水環境調和のための電気電子工学 奥村 進(工学部電子システム工学科)
- 第5回 水環境の保全と水処理技術 南川久人(工学部機械システム工学科)
- 第6回 未来創造型循環型社会 作田 健(工学部電子システム工学科)
- 第7回 環境技術の基礎と事例・研究1(里山・生き物) 野間直彦(環境科学部環境生態学科)
- 第8回 産官学連携による廃棄物リサイクルシステム 徳満勝久(工学部材料科学科)
- 第9回 環境技術の基礎と事例・研究2(ガラスの再資源化) 加藤聡(ガラス再資源化協議会)
- 第10回 環境技術の基礎と事例・研究3(建築への応用) 太田浩史(東京大学生産技術研究所)
- 第11回 環境技術の基礎と事例・研究4(都市空間) 近本智行(立命館大学理工学部建築都市デザイン学科)
- 第12回 環境技術の基礎と事例・研究5(建物の持続可能性) 張 晴原(環境科学部環境建築デザイン学科)
- 第13回 環境技術の基礎と事例・研究6(環境と共生する建築) 芦澤竜一(環境科学部環境建築デザイン学科)
- 第14回 演習-1 山根・河崎・松岡・高田(本学教員)
- 第15回 演習-2 山根・河崎・松岡・高田(本学教員)

【コミュニティ・プロジェクト実習Ⅰ】受講生の取り組みテーマ

年度	コース	課題	地域
H26	大学院	環境と共生し地域に根差す「マチ」づくりの構想	多賀町
		子供の可能性を引き出し地域とのつながりを育む幼保一体型施設のデザイン	長浜市
		田の消番屋移築プロジェクト	宮城県南三陸町
		中山間地コミュニティ・ビジネスにおけるマーケティング及び集客システムの構築	米原市
		城資源を活かしたイノベーションによる離島沖島の地域振興	近江八幡市
	学生まちづくりの終わり方	豊郷町	
	社会人	地域の力を解発する住宅地開発のためのデザインコード及び地区計画の提案	近江八幡市
		空家活用による地域活性化を目指した「空家バンク」設立プロジェクト	甲賀市
		自宅醤油蔵のインキュベーション空間としての再生	長浜市
		愛荘町ガンパレックの制作を通じた地域人材の評価と人材力の賦活	愛荘町

豪華布陣のプログラムで先端の知恵とわざを身に付ける！
 学びは一年、仲間は一生！ 多彩な人脈・ネットワークも財産に！
 あなたの学びが地域の目覚め、あなたが動けば地域も動く。

